



菊陽町小中学校音楽会がありました。

白水台地の陽光「さん」



11月12日(火)、菊陽中学校体育館で、菊陽町の小学校6校と中学校2校が集まり「菊陽町小中学校音楽会」がありました。小学校はほとんど3・4年生が出演し、合唱(スマイルアゲイン、気球に乗ってどこまでも、365日の紙飛行機など)、合奏(ドレミの歌、ルパン3世のテーマ、銀河鉄道999など)がありました。どの学校も、この音楽会に向けて練習を重ねてきており、素晴らしい歌声と演奏でした。その中で、菊陽南小学校の3・4年生は、音楽劇「後の世のために～人々の願いがこめられた鼻ぐり井手」を発表しました。他の小学校は、100名前後の出演がほとんどで、多いところは170名もの学校もありました。菊陽南小学校の出演者は22名で、始まる前は、大勢の小中学生や保護者の中で、どんな発表ができるか不安もあったことだと思います。しかし、会場の雰囲気になんか飲まれることなく、いつも通りかそれ以上の発表ができました。役を演じる場面、太鼓や笛などの楽器を弾く場面、歌いながら演技をする場面、1人でいくつもの役割を担い、どの場面でも、1人1人が自信をもって堂々と発表することができていました。会場で見ている人たちは、演技に引き込まれていました。終わった瞬間には大きな拍手が沸き起こりました。この音楽会を通して多くのことを感じました。子どもたちは、練習をやらされるのではなく、自分たちで主体的に取り組み、自分たちの発表に自信をもっていったこと。この音楽劇は、10年近く引き継がれていて、下級生は、上級生の取組の素晴らしさを見ていて、今年も強い思いがあったこと。練習の過程で、4年生が3年生に教える場面があり、チームワークがあったことです。講師の山本先生からは、「地域素材のオリジナル楽曲があることは本当に素晴らしいです。子どもたちの声にも張りがあり、自信を感じます。学校の宝、地域の宝として大切にしてください。子どもたちの自信にもつながると思います。」と、お褒めのお言葉をいただきました。



鼻ぐり井手祭がありました

ご来賓の方々、そして地域や保護者の皆様など、大勢の方の前で、3・4年生の音楽劇「後の世のために」、5・6年生の「よさこいソーラン節」を披露しました。また、鼻ぐり井手の方では、3～6年生の「鼻ぐり井出ボランティアガイド」を、テントでは6年生の「芋の販売」を行いました。子どもたちは、慣れないステージ発表で、緊張はあったかと思いますが、練習の成果を十分に発揮していました。3年生にとっては、初めてのボランティアガイドでしたが、1人1人説明資料を工夫していて、落ち着いてガイドができました。よさこいソーラン節は、菊陽学園の方々と一緒に踊ることができ、力強い動きができました。たくさんの応援ありがとうございました。



朝のいきいき集会で2年生が発表しました。

2年生は、初めに21名1人1人の紹介を行いました。自己紹介ではなく、隣の人の紹介をするというものでした。つながりを感じる素晴らしい発表でした。その後、みんなで合奏と歌を行いました。先日は、体育の鉄棒の学習を見ましたが、鉄棒が苦手な子を、「がんばれ!がんばれ!」と全員が応援する場面がありました。毎日の学習でお互いを大切にする力が育ち、それが発表にも表れていました。

